

13. 緊急時の安否確認

授業のねらい

携帯電話が、どのようにしてつながっているかを知らせ、緊急時の連絡や安否確認に役立てたり、緊急時のための連絡システムについて平常時から知ったりすることで、緊急時のための準備の必要性を理解させる。

授業の価値

東日本大震災時には、東日本の広い地域で電話や携帯電話が利用できなくなった。しかし、その時でも、携帯電話の機能によっては利用することができていたものもあった。日頃使っている携帯電話やスマートフォンであっても、そのつながる仕組みを意識することは少ない。日常でもつながりにくいことはあるが、緊急時にはその仕組みの違いの特徴が、つながりやすさを左右する一因ともなっている。

そこで、つながる仕組みを知ることで、実際につながりにくい状況になった時に、よりつながる方法を見付けようとすることができるように正しい知識と心構えを身に付けさせておくとともに、緊急時の安否確認の方法について知り、平常時から準備させておくことが必要であると考えている。

この授業では、携帯電話のつながる仕組みについて理解させ、日頃使っている機能について見直し、機能の面から緊急時のつながりやすさについて考えさせる。さらに、緊急時に優先的に利用できる連絡の仕組みが用意されていることを知り、日頃から家族や知人とも話しておこうと意識付けをする。

教科・領域等

特別活動・総合的な学習の時間

対象学年

小学校第5学年～第6学年

活用する資料

携帯電話がつながる経路についての図、パケット通信を説明した図、携帯のメールが届く仕組みの図、IT防災訓練のWebサイト資料 (<http://www.itbousai.go.jp/>)

● 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1. 非常時には、連絡が取れにくいことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電話や携帯電話が繋がらない時はありますか。<予想される反応> ・混んでいると携帯が繋がらない時がある。 ・地震のすぐ後には繋がらなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や携帯電話が繋がらなかった経験を自分の経験や家族の話から想起させる。
35分	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎ 学習課題 非常時など携帯電話が繋がりにくい時にどうするか考えよう。</p> </div> <p>2. 携帯電話がつながる仕組みを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話同士はどのようにつながるのでしょうか。<予想される反応> ・無線でつながる。 ・アンテナからつながるなど。 ○ 携帯電話は、大きく分けて2通りのつながり方があります。「通話」と「通信」です。「通話」はずっとつながっていますが、「通信」は細切れでつながっています。 □ いろいろな携帯電話の機能がどちらになるか分けてみましょう。<予想される反応> ・電話は通話、ホームページは通信、メールは通信など。 ○ 携帯メールは、通信で届くのですが、メールが来たお知らせだけは通話です。 ● 携帯メールが送られているのに届かない時にはどうしますか。<予想される反応> ・新着の確認をする。 <p>3. 緊急時のために、用意されている仕組みがあることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それでも連絡が取れない時のために用意された連絡方法があります。IT防災訓練に、全部出ています。 ● みなさんの家では、どの方法で連絡を取ることになっていますか。<予想される反応> ・災害伝言ダイヤル、決まっていない。 ○ 分からないと、使えませんね。家で確かめておきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃、意識していないつながる仕組みに目を向ける。つながる仕組みを図で示して、基地局を経由することを確認する。 ・パケット通信の仕組みの図を示し、通話は回線を占有するが、通信は回線を何人かで共有できることを押さえる。 ・緊急時には線を共有できる通信がつながりやすいことを押さえる。 ・電話(通話)、ショートメール(通話)、ホームページ(通信)、パソコンメール(通信)、携帯メール(通信と通話)などについて取り上げる。 ・携帯メールは、データは通信で届くが、メールが来たお知らせが通話の機能なので、届いていないと思うことがある。その時には、新着確認をすれば来ていることもあることを説明する。 ・新着確認が児童から出ない時には、新着確認の機能があることを説明する。 ・IT防災訓練を示す。似た機能がたくさん用意されていて、行き違いになってしまうことも心配されることに気付かせる。 ・災害時などには、優先的につながる仕組みがあり、災害伝言はその一つであることを補足する。 ・それぞれの家庭で、一番利用しやすい方法を相談しておくことを勧める。
5分	<p>4. 緊急時の安否確認の方法についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 携帯電話は、通信の機能の方がつながりやすい。災害時の連絡の仕方については、普段から家の人と相談し、準備しておくことが大切である。</p> </div>	

● 発問 □ 指示 ○ 説明